

平成25年度の市職員給与や職員数

人事行政の運営状況について公平性や透明性を高めるため、市職員の給与や職員数について公表します。職員に支給される給与は、民間企業の賃金を基にして出される「人事院勧告」や他の地方公共団体との均衡などを考慮し決定されています。今後も財政状況の改善を図るため、引き続き人件費の適正化に取り組んでいきます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

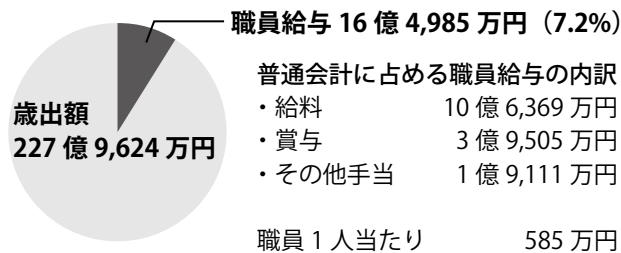
■職員数の状況

平成26年4月1日現在の職員数（看護師含む）は656人です。昨年と比べ、保育士・幼稚園教諭および医療職の充実により増加しています。

■人件費の状況

平成25年度決算の普通会計における職員給与の割合は次のとおりです。昨年と比べ、757万円減となっています。主な要因は給与カットです。

■平成25年度普通会計決算より



■職員の年間給与

職員の給与とは、基本となる給料のほか賞与や通勤、住居、管理職手当など各種手当が含まれます。

年齢別年間支給実績（平成25年度）

年齢 (H25.4.1)	行政職	技能労務職
20～22歳	283万円	-
23～25歳	337万円	-
26～28歳	338万円	-
29～31歳	450万円	-
32～34歳	492万円	-
35～37歳	516万円	503万円
38～40歳	580万円	558万円
41～43歳	608万円	558万円
44～46歳	654万円	549万円
47～49歳	671万円	583万円
50～52歳	724万円	613万円
53～55歳	707万円	604万円
56～58歳	761万円	594万円
59～60歳	769万円	592万円

■特別職の報酬

平成23年6月の西村市長の就任以降、給与月額を市長（30%）、副市長（20%）、教育長（15%）カットしています。

役職名	年収(本来支給)	年収(減額後)	影響額
市長	1,555万円	1,089万円	△466万円
副市長	1,244万円	995万円	△249万円
教育長	1,115万円	948万円	△167万円

■人件費節減の主な取り組み

■給与カット

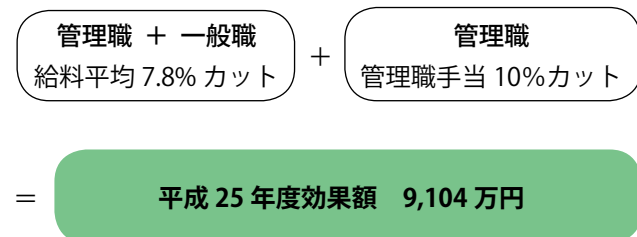
東日本大震災の財源に対処するための国家公務員の給与減額措置に準じ、平成25年7月から平成26年3月までの間、職員給料の平均7.8%カット、管理職手当の10%カットを実施しました。

■職員数の削減

「財政再建推進計画」や「集中改革プラン」による業務効率化や職員数の削減に取り組んだ結果、平成15年度以降で145人（18.1%）の削減となりました。

■時間外手当の削減

業務の見直しや休日勤務の代休対応により、時間外勤務手当の削減に取り組んでいます。限られた職員数の中で、延長保育などのサービスを充実させるため、平成25年度は昨年度と比べ時間外手当が増加しています。



年度	21	22	23	24	25
支給額(百万円)	89	92	82	73	78

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。本年も加西病院と病院職員ともどもよろしくお願い申し上げます。

■医療の動き

平成26年に成立した「医療介護総合確保推進法」の方向性を受けて、医療や介護に動きが起こっています。この法律は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みを作ることが目的です。

世の中は経済原理で動く部分が多く、介護サービスでは、比較的低価格で入居できる「サービス付高齢者住宅」の建設が都市部を中心にあちこちで進んでいます。

医療サービスでは、二次医療圏（特殊な医療を除く一般的な医療サービスを提供する医療圏）における病院機能再編の波がじわじわと寄せています。

急性期病床を急性期後（ポストアキュート）病床や療養病床に振り替えるための「地域医療ビジョン」という言葉がこれまで使われてきましたが、平成26年12月に厚生労働省から「地域医療構想調整会議」という正式名称が発表され、地域医療の当事者を集めて機能分担を交渉させる会議が開かれることとなります。この会議の主役は県で、議論の行方は加西病院の将来像を決定づける力があるだけに、病院の事業者間で相当厳しい議論が行われる場になるのではないかと想像しています。

■加西病院の動き

加西病院は市内で唯一の総合病院で、急性期医療の中核機能を果たしています。

加西病院が重症疾患の入院治療、救急医療、専門医療という使命を果たしてこそ、市民の皆さまが安心して生活を営むための医療ニーズに応えることができます。そのためには、加西病院職員が士気高く元気に医療活動を展開できる体制を続け、周辺医療機関と緊密に連携し、患者さんにとって頼れる病院でなければならないと肝に銘じています。

当面は、国が診療報酬を引き下げると見直し、国内で半減させようと目論んでいる7対1病床（患者7人に対し看護師1人を配置）を守れる限り守ることが課題です。そのためには急性期後の医療を行う病床を一定程度導入し、基準をクリアしなければならないと分析しています。

大きな流れに取り残されないよう、視野を広く持って市民の皆さまのための病院価値を高めることができるよう、今年も進んでいきたいと思っております。市民の皆さまには今年も加西病院へのご支援をお願いする次第です。

（病院事業管理者・院長 山邊裕）



平成26年10月、第35回院内学会で「経営と医療の質について」をテーマに熱い討論を行いました。

粗大ごみリサイクル品の格安展示販売(リサイクルプラザ)

リサイクル啓発のため、クリーンセンターに持ち込まれたタンクや机などの粗大ごみのうち、再利用可能な物品を選別して展示販売します。

販売期間／1月15日（木）～30日（金）9:00～16:00

※水・土・日は除く

場所／加西市クリーンセンター管理棟内（中山町520-15）

対象者／市内在住で営利を目的としない方※事業所などは対象外

販売方法／家具・自転車など物品により指定した日に抽選販売します。また、お一人さまの売却数についても制限があります。詳しくは展示場で確認してください。

■資源物（金属・空き缶など）の持ち去りを目撃された場合は情報提供にご協力をお願いします！

市民の皆さまのご協力により、ごみターミナルに排出された金属・空き缶などの資源物は、加西市の委託収集により収集した後、有価物として売却しています。

近年、近隣市でごみターミナルから資源物の持ち去り行為が発生しています。ごみターミナルで不審者による持ち去りを目撃された場合は、環境整備課まで情報提供をお願いします。

不法投棄ごみの撤去作業

加西市と加西ダンブカー協会は平成26年11月19日、市内の不法投棄ゴミの撤去作業を行いました。

同協会の協力により、ダンブカー2台とクレーン付トラック1台、軽トラック1台が出動。機動力を生かして、山の斜面に投棄された冷蔵庫やテレビ、タイヤなど380kgの粗大ごみを撤去しました。

不法投棄は犯罪です。市民の皆さまの監視をお願いします。不法投棄の通報は環境整備課まで。



クレーン付トラックで、不法投棄されたごみを回収